

「クマがいる森でのルール」

〈中学生向け〉

鹿沼市自然体験交流センター

① ここはクマの生活するエリアです

センターのまわりは、ツキノワグマも生活している自然の森です。
人のほうから気をつけることで、クマとのトラブルをかなり減らせます。
このプリントのルールをしっかりと意識して活動しましょう。

② 一人で行動しない

- ・班やグループから離れて一人で歩かない。
- ・トイレなどにも、できるだけ二人以上で行く。
- ・「ここから先は入らないでください」と言われた場所には絶対に入らない。

③ 食べ物とゴミをきちんと管理する

- ・ポケットやリュックの外ポケットに、食べ物を入れっぱなしにしない。
- ・食べ残しや包み紙は、すぐに指定されたゴミ箱や回収袋に入れる。
- ・クマはにおいにとっても敏感です。人の食べ物やゴミが、クマを呼び寄せてしまうことがあります。

④ 歩くときは「人がいる」と知らせる

- ・森の中や見通しの悪い道では、静かに歩きすぎない。
- ・会話をしたり、歌を口ずさんだりして、人がいることを音で知らせる。
- ・鈴を持っている人は、しっかり身につけておく。
- ・クマにとって一番こわいのは「いきなり人が目の前に現れること」です。お互いびっくりしないようにしましょう。

⑤ クマを見かけたとき

- ・自分から近づかない。追いかけない。
- ・走って逃げようとしない。静かにその場からはなれる。



- ・石を投げたり、大声でおどかしたりしない。
- ・安全な場所まで下がったら、すぐに先生やセンターの職員に、「いつ・どこで・何頭くらい・どんな様子だったか」を落ち着いて伝える。

⑥ 近い距離で出会ってしまったとき

- ・驚いても、叫ばない・走らない・背中を向けない。
- ・先生の指示をよく聞き、グループからはぐれないようにする。
- ・クマの様子を見ながら、ゆっくりと後ろに下がって距離をとる。
- ・子グマを見ても、絶対に近づかない（近くに母グマがいる可能性が高い）。
- ・とにかく「刺激しないこと」と「落ち着いて距離をとること」が大事です。

⑦ 夜・宿泊中の注意

- ・夜は、許可なく外に出ない。見回りや連絡は大人にまかせる。
- ・テントや部屋の中に、食べ物を持ち込まない・置きっぱなしにしない。
- ・窓から外に食べ物を投げたり、野生動物にえさをあげたりしない。
- ・一度でも人の食べ物の味をおぼえたクマは、人の近くにくり返し来るようになり、とても危険になります。

⑧ 自分とみんなを守るために

センターの職員は、毎日クマの情報を確認し、施設まわりの安全を点検しています。

中学生のみなさんには、「自分の身は自分でも守る」という意識を持って、このルールを守ってほしいと思います。

ルールを守ることが、自分と友だち、そしてクマをふくめた自然全体を守ることにつながります。